

## ● 消費者対話の活性化勉強会

本年度の勉強会では、FCP いつでも「見える化」活動として FCP 活動を広く普及することを目指して以下の活動を考えています。

- ・FCP を広く多くの人に知っていただくための活動（IT 技術を活用した活動）
- ・講演会等でわかりやすく発信
- ・各食品関連事業者の活動を「見える化」する取組を FCP として「後援」
- ・地域交流の場の開催
- ・農林水産省における勉強会やイベントの開催、共催
- ・その他 会員相互の連携、異業種との情報交換 セミナー等の開催

| 回     | 開催日                   | 議事次第                                                                                                                                                                                               |
|-------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 回 | 平成 24 年<br>7 月 2 日(月) | 1.あいさつ<br>2.本日の勉強会について<br>3.自己紹介<br>4.今年度の活動についての説明<br>・FCP いつでも「見える化」活動(消費者対話の活性化勉強会)<br>概要<br>・今年度の具体的な活動についての提案<br>・子ども霞が関見学デーにおける活動について<br>5.意見交換<br>6.話題提供(株式会社 4CYCLE 田井中慎様)<br>7.あいさつ、事務局連絡 |

平成24年度 FCP勉強会

消費者対話の活性化勉強会  
参加企業

平成24年7月2日（月曜日）  
場所：中央合同庁舎第4号 全省庁共用1219-1221会議室  
時間：14：00 － 16：30

| NO | 企業名                         |
|----|-----------------------------|
| 1  | 味の素株式会社                     |
| 2  | 一般社団法人インターナショナルバリューマネジメント協会 |
| 3  | 花王株式会社                      |
| 4  | キリングroupオフィス株式会社            |
| 5  | 株式会社鶏卵肉情報センター               |
| 6  | 株式会社ケット科学研究所                |
| 7  | サッポロビール株式会社                 |
| 8  | 株式会社スコラ・コンサルト               |
| 9  | 全日本菓子協会                     |
| 10 | 株式会社高島屋                     |
| 11 | テーブルマーク株式会社                 |

| NO | 企業名                   |
|----|-----------------------|
| 12 | 株式会社東急ストア             |
| 13 | 株式会社日清製粉グループ本社        |
| 14 | 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 |
| 15 | 日本水産株式会社              |
| 16 | 日本マクドナルド株式会社          |
| 17 | ハウス食品株式会社             |
| 18 | 株式会社BMLフードサイエンス       |
| 19 | 株式会社4CYCLE            |
| 20 | 富士ゼロックス株式会社           |
| 21 | 三菱商事株式会社              |
| 22 |                       |

※敬称略・参加主体別／五十音順

本日も欠席

|   |             |
|---|-------------|
| 1 | 伊藤ハム株式会社    |
| 2 | 株式会社アールピーアイ |
| 3 | キューピー株式会社   |

|   |             |
|---|-------------|
| 4 | 株式会社ニチレイフーズ |
| 5 | 有限会社マルトモ食品  |
| 6 | 株式会社明治      |

# フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)

## FCP いつでも「見える化」活動

### 消費者対話の活性化勉強会

**日 時**：平成24年7月2日（月曜日） 14：00～16：30

**場 所**：中央合同庁舎第4号館 12階 1219-1221 会議室

#### 議 事 次 第

1. あいさつ
2. 本日の勉強会について
3. 自己紹介
  - お名前 所属 ひとこと（1人1分程度でお願いします）
4. 今年度の活動についての説明
  - FCP いつでも「見える化」活動（消費者対話の活性化勉強会）概要（資料2）
  - 今年度の具体的な活動についての提案（資料3）
  - 子ども霞が関見学デーにおける活動について（資料4）
5. 意見交換
6. 話題提供（株式会社 4CYCLE 田井中慎様）
7. まとめ、事務局連絡

#### 配 布 資 料

- ・ 資料1：消費者対話の活性化勉強会 次第（本紙）
- ・ 資料2：FCP いつでも「見える化」活動（消費者対話の活性化勉強会）概要
- ・ 資料3：FCP いつでも「見える化」活動具体的な活動の紹介
- ・ 資料4：「子ども霞が関見学デー」について

## 資料2



# FCPいつでも「見える化」活動 (消費者対話の活性化勉強会) 概要

平成24年5月

農林水産省

食料産業局 企画課 食品企業行動室  
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

## これまでの活動（消費者との対話のあり方研究会）を振り返って

- 昨年度までは、農林水産省主催の研究会（分科会）として、「消費者対話との対話のあり方」について研究を行ってきました（参考1）
- 研究会活動では、企業と消費者のより良い関係作りのためのコミュニケーションについて議論をしていただき、「FCPダイアログ・システム」や「作業シート」の成果物を作成することができました
- 平成23年度の研究会では、東日本大震災が消費者の食への意識や行動に及ぼした影響についての拡大研究会や、成果物を利用した、企業のコミュニケーション戦略について具体的な事例報告をしていただき、ツールの活用について活発な意見交換を行うことができました

### （参考1）

平成21年 企業行動の情報発信研究会 成果物「FCP・ダイアログ・システム」

① 失敗から学ぶ情報発信のあり方分科会 ② マスメディアとの意見交換会のあり方分科会 ③ 消費者との対話のあり方分科会

平成22年 消費者との対話のあり方研究会

「FCPダイアログ・システム（第一版）」の試行を行い、その有効性を検証しつつPDCAサイクルを動かすことの出来るシステムを検討

消費者との対話を実践して、ダイアログシステムを試行する  
直接対話の場の提供 「表示適正化講座との連携」

- 千葉県柏の葉UDCK 「どんな情報が食の信頼をつくるのか」
- 三重県ぎゅーとら「店頭で伝わっている情報はどんなもの」

FCPダイアログ・システムの考え方に則って、消費者コミュニケーションを実践したり、振り返りを行うことの有効性を確認

成果物「FCP・ダイアログ・システム 作業シート」

平成23年 消費者との対話のあり方研究会 成果：各企業の消費者対話の事例の共有 13社の事例

① 震災後の消費者意識の変化についての拡大研究会 ② 「FCPダイアログ・システム作業シート」の有効性の確認 事例共有

## これからの活動について

- F C P事務局では、これまでの研究会での活動や成果物が、現在の消費者コミュニケーションの改善や、次の戦略立案に有益であることを確認することができ、一定の成果をあげ、企業と消費者のより良い関係作りのためのコミュニケーションについて考える研究会活動に区切りをつけることができたものと認識しております
- 今後は、さらに、実際にFCPの仕組み（FCPダイアログ・システム、作業シート）の普及を進めるとともに、消費者コミュニケーションを進化させていただくことを期待します。また、このFCPの仕組みは大企業だけではなく、皆さんの研究結果は、研究会に参加することの難しい全国各地の中小零細企業の方にも参考になるものと考えています
- 一方で、研究会活動やアンケートやヒアリングなどを通じて、F C P活動そのものの認知が、消費者や中小の食品事業者に伝わっていないので、F C Pの理念に沿った食への信頼向上に向けた真摯な活動の「見える化」に取り組み、F C P活動を普及してほしいとのご要望をいただきました
- 今年度は、このような食品関連事業者の日々の地道な活動や取組をF C P活動として広く伝えることに取り組むこととし、このことが、今後のF C Pの活動の礎となり、ひいては消費者との信頼や対話につながるものと考えています

## 具体的な活動（案）

# FCPいつでも「見える化」活動

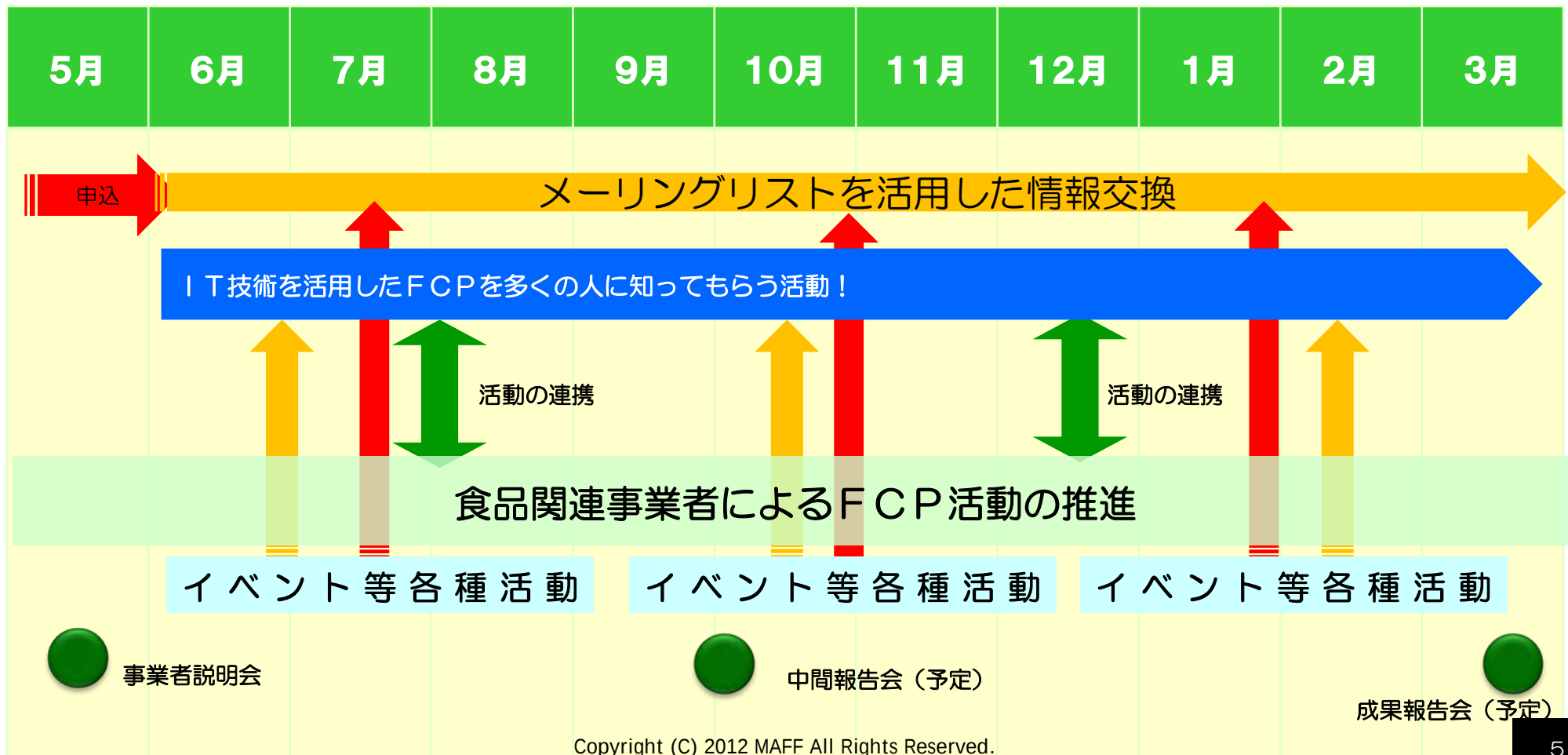
例えば・・・

- FCPを広く多くの人に知っていただくための活動（IT技術を活用した活動）
- 講演会等でわかりやすく発信
- 各食品関連事業者の活動を「見える化」する取組をFCPとして「後援」
- 地域交流の場の開催
- 農林水産省における勉強会やイベントの開催、共催
- その他 会員相互の連携、異業種との情報交換 セミナー等の開催

## 活動スケジュール（案）

**勉強会：活動を進めていくために必要に応じて勉強会の開催を予定しております**

勉強会：平成24年7月予定（詳細は別途ご案内します）



## メーリングリストの作成

- FCP事務局としては、**FCPいつでも「見える化」活動**をすすめていく中で、勉強会やイベントへの参加、アンケートへの回答やご意見を伺うために、お集まりいただくなど、ご協力をいただきたいと考えております
- ついては、このようなご協力をいただける方を確認させていただくとともに、皆様との連絡や情報交換のために、本勉強会への参加者募集（**「FCPいつでも見える化活動メーリングリスト」の作成**）を行いますので、趣旨をご理解いただき、申し込みをお願いします
- なお、ご登録いただいた皆様にお集まりいただく際は、改めてFCP事務局からご連絡させていただきます

参考資料：平成23年度 消費者との対話のあり方研究会  
ご登録企業/団体 37企業団体（平成24年2月29日）

|                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 株式会社アール・ピー・アイ              | 生活協同組合連合会コープネット事業連合 |
| アサヒビール株式会社                 | 全日本菓子協会             |
| 味の素株式会社                    | 株式会社高島屋             |
| 伊藤ハム株式会社                   | 株式会社千葉銀行            |
| 株式会社イトーヨーカ堂                | テーブルマーク株式会社         |
| 社団法人インターナショナル・バリューマネジメント協会 | 株式会社東急ストア           |
| 花王株式会社                     | 株式会社ニチレイフーズ         |
| カゴメ株式会社                    | 株式会社日清製粉グループ本社      |
| キューピー株式会社                  | 日本ケンタッキーフライドチキン     |
| キリングroupオフィス株式会社           | 日本水産株式会社            |
| キリンビバレッジ株式会社               | 日本製粉株式会社            |
| 株式会社 鶏卵肉情報センター             | 日本マクドナルド株式会社        |
| 株式会社ケット科学研究所               | ハウス食品株式会社           |
| 株式会社光洋                     | 富士ゼロックス株式会社         |
| サッポロビール株式会社                | 株式会社明治              |
| サントリーホールディングス株式会社          | 森永製菓株式会社            |
| 株式会社シグマクシス                 | 株式会社山武              |
| 社団法人消費者関連専門家会議             | 株式会社読売広告社           |
| 株式会社スコラ・コンサルト              |                     |

(参考資料)  
平成24年度の研究会・勉強会の  
テーマと進め方について

## 平成24年度の活動イメージ

平成24年度も、引き続きネットワーク（NW）に参加する事業者様・団体様に様々なステージで活動いただく場を設けています。

1

農林水産省が設ける  
研究、発表の場への  
参加



2

事業者の主体的な取  
組（農水省が運営に  
関与）



3

事業者の自主的な協  
働の取組（農水省と  
情報を共有）



4

個々のビジネス展開  
（農水省と情報を共  
有）



### <想定される活動内容>

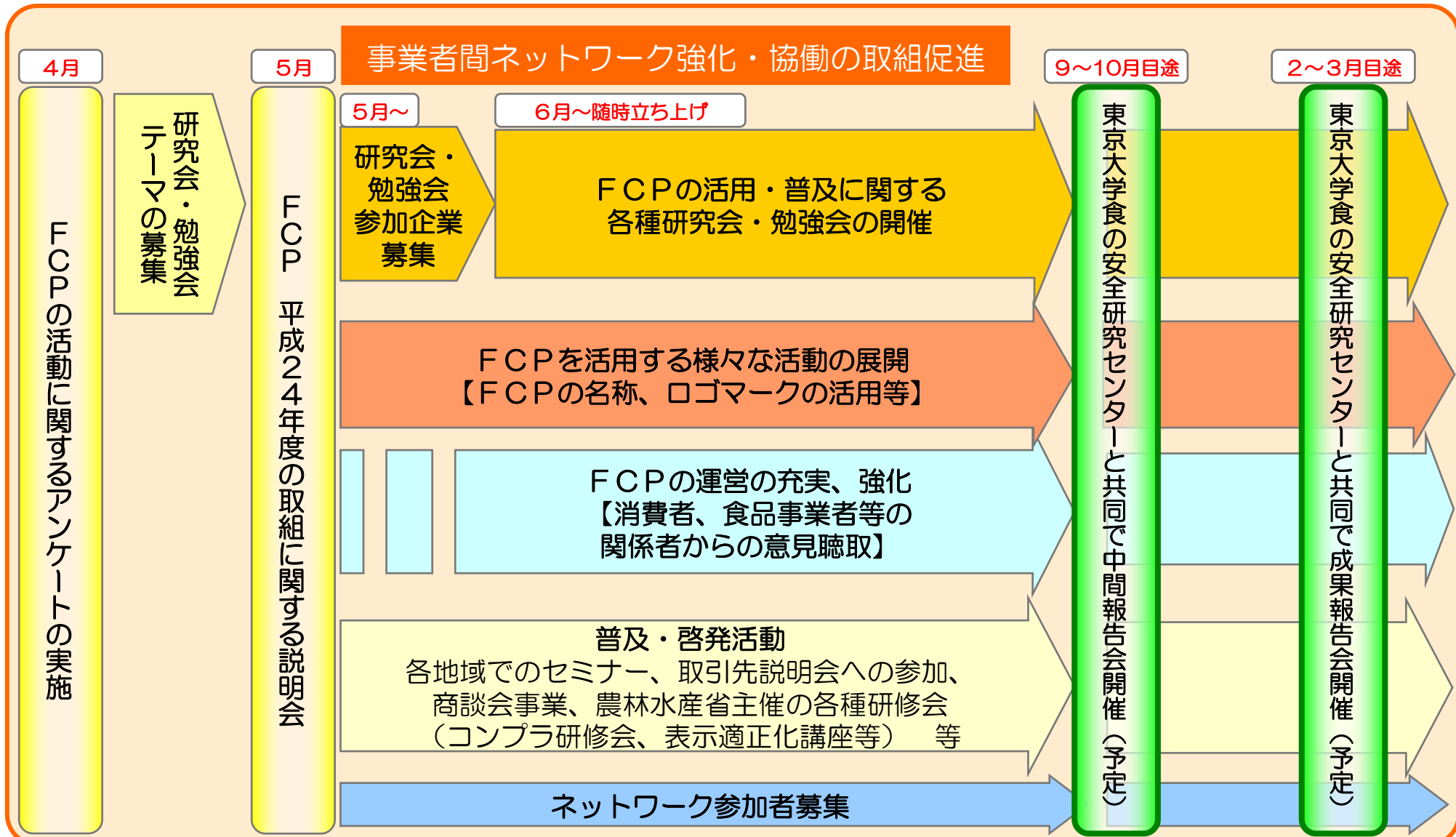
- FCPで開発されたツールに関する研究会・勉強会
- 活動報告会、成果発表会など
- 「協働の着眼点」の見直し作業

- 事業者が主体となって運営する研究会
- 各都道府県主催など地域でのFCP活動 など

- FCPの活動と銘打った事業者間での自主勉強会
- FCPの活動と銘打ったセミナー、シンポジウムなど

- 「協働の着眼点」をはじめFCPの考え方・ツールを活用したビジネスの展開
  - ・ 展示会・商談会
  - ・ 人材育成
  - ・ 取引先の審査 など

## 平成24年度のスケジュール（イメージ）



# 平成24年度研究会・勉強会のテーマについて

## 1. 研究会・勉強会のテーマについて

- 研究会・勉強会は、FCPの基本的な考え方に基づき「協働の着眼点」を活用した食品事業者の取組の活性化などについて検討していただく場として位置づけており、手挙げ方式で参加者を募集しています。研究会のテーマはNW参加企業・団体の御意見・御要望を踏まえて毎年度設定しています。
- 平成24年度の研究会・勉強会のテーマについては、NW参加企業・団体から募集（アンケート）するとともに、昨年度研究会に御参加いただいた方の一部から、研究会の運営方法等についてヒアリングを行いました。あわせて、事業者の主体的な取組としての研究会の主催希望を募りました。
- これらのNW参加企業・団体からの御意見を踏まえ、
  - ① 農林水産省が運営する研究・発表の場としては、「FCP企業力アップ研究会」、「消費者対話の活性化勉強会」、「品質監査に関する研究会」、「商品情報の効率的なやり取りに関する研究会」及び「『FCP展示会・商談会シート』の普及に向けた勉強会」を開催することといたします。
  - ② 事業者の主体的な取組としての研究会（農林水産省が運営をサポート）としては、「FCP普及・戦略研究会」及び「『食の信頼』標準化研究会」について申請をいただいています。（なお、事業者の主体的な取組としての研究会につきましても、随時募集を行っておりますので、FCP事務局までお問い合わせ下さい。）

## 2. 研究会・勉強会への参加募集について

- これらの研究会・勉強会の参加者は、本日から募集を開始いたします。事務局宛に参加登録申込書の提出をお願いいたします。（第1次の締切を**6月8日（金）**に設定させていただきますが、参加希望はその後随時受け付けます。）
- なお、研究会の参加登録には、確認作業等を含む事務手続きに2～3日を要することがありますことを予めご了承ください。

## 平成24年度 FCP研究会・勉強会

### 活動パターン

①農林水産省が設ける  
研究・発表の場

②事業者の主体的な取組  
(農水省が運営に関与)



### FCP企業力アップ研究会

消費者対話の活性化勉強会

品質監査に関する研究会

商品情報の効率的なやり取りに関する研究会

「FCP展示会・商談会シート」の普及に向けた勉強会

### FCP普及・戦略研究会

#### 「食の信頼」標準化研究会

地域  
ブラン  
チ

三重ブラン

岩手ブラン

愛媛ブラン

和歌山ブラン

山梨ブラン

栃木ブラン

大分ブラン

滋賀ブラン

島根ブラン

地域の状況に応じたテーマ設定

## 研究会・勉強会の運営について

- (1) 各研究会・勉強会への参加は、参加規約に同意の上、参加登録申込書に必要な事項を御記入いただき、F C P 事務局までE-mail又はF A Xでお申し込みください。
- (2) 研究会・勉強会の資料や議事概要については、ホームページ等で原則公表します。その際、議事概要は、発言者が特定できない形で公表します。  
ただし、研究会・勉強会の議論内容が、企業秘密に触れたり、個人の権利・利益を害するおそれがあると判断した場合には、資料等を非公表とします。
- (3) 効率的な議論を行うため、研究会・勉強会開催前にアンケートやヒアリングを実施し、参加者の意向を伺いながら進めます。
- (4) 研究会・勉強会のアウトプット等は、F C P の成果として公表することを原則とします。

## 研究会・勉強会の参加者にお守りいただきたい事項 (検討作業におけるルール)

- ステークホルダー間でのWin-Winの関係づくりを重視すること
- 建設的・効果的な意見交換に貢献すること  
(批判に終始せず、対案を提示するように努めること)
- 個別の組織や団体に対する誹謗・中傷は行わないこと  
(研究会・勉強会においては、事業者間の利害調整等はいりません)

# F C Pいつでも「見える化」活動 具体的な活動の紹介

# 「見える化」活動 その①

FCPを広く多くの人に知っていただくための活動

- 皆さんの活動を紹介するフェイスブックサイトの本格的な運営
- FCPフェイスブックページで、FCPネットワーク参加事業者の活動をPRする！



## イメージ：文部科学省公式サイト -11, 314のいいね-



## 「見える化」活動 その②

### 「講演」「勉強会」活動

- FCPの活動を広げていくために、FCPの考え方の紹介や成果物の情報提供
- 各種団体や事業者向けの勉強会などに参加をさせていただき、FCPを紹介します

## 事例：小売業A社における取引先とのFCP勉強会の開催



### FCP事務局より講師を派遣

## 「見える化」活動 その③

# イベントの開催・共催

- 農林水産省が行う様々なイベントとの連携を行い、ネットワーク参加者の方に対して参加依頼や紹介を行う
- 夏休み「子ども霞が関」見学デー  
期間：平成24年8月8日（水）・9日（木）
- 「消費者の部屋」FCP週間  
期間：平成24年11月12日（月）～16日（金）

# 平成23年度 子ども霞が関見学デーの様子



平成23年度 子ども霞が関見学デーの様子（6：37）

## 「見える化」活動 その④

### 「後援」活動

- 消費者からの信頼を得るために取り組んでいる活動を、FCP活動と位置付けていただき、協働の着眼点に基づいて消費者の信頼を向上するために行う各種取り組みに対しての相談対応やサポートする活動

# 想定される活動



消費者との意見交流会

消費者対応部門の研修会



## 「見える化」活動 その⑤

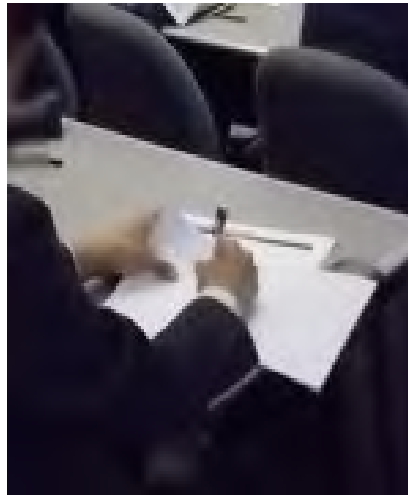
### 「地域との交流」

- 今年度から開催するFCP企業力アップ研究会や、地域ランチと連携して、地方でがんばっている食品事業者との交流の場を設けます

# 事例



地域ランチや研究会を通じて地域の食品事業者との交流



# 「見える化」活動 その⑥

## その他

- 会員相互の連携
- 異業種との情報交換
- 専門家によるセミナー
- 勉強会の開催

## 平成24年度「子ども霞が関見学デー」について

農林水産省  
食料産業局企画課食品企業行動室  
FCP事務局

このたびは、平成24年度「子ども霞が関見学デー」に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

おかげさまで、事務局の予想を遥かに上回る20社近い企業様から、なんらかの形でご協力いただけたというご回答をいただいているところでございます。

FCP事務局といたしましては、できるだけ多くの皆様にご参加いただきたいと考えておりますが、会場のスペース上の制約もございまして、以下の3通りの方法でご協力をいただきたいと思います。

### (1) 実演・体験コーナー

製品のできるまで等、子ども達が触ったり、体験したりできるコーナーを設けたいと考えております。

### (2) パネル展示

FCPの理念にのっとり、食の信頼を向上させるという観点から子どもたちにアピールしたい取組みをパネルでご紹介いただきたいと考えております。

(例)

- ・食べ物ができるまで
- ・節電、エコの取組みの紹介
- ・衛生管理システムの紹介
- ・農業体験の取組み 等

### (3) 子ども向けパンフレット陳列

食品企業の取組みを紹介するための子ども向けのパンフレット（食育関係も含む）をブース内に陳列、配布することを考えております。

具体的なご協力方法等詳細につきましては、ご参加いただける企業様、団体様と個別に調整を開始しているところでございます。

皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。今後ともFCP見える化活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

F C P 研究会・勉強会に登録いただいた皆様へ

## 平成24年度「子ども霞が関見学デー」実施イベント協力のお願い

農林水産省  
食料産業局企画課食品企業行動室  
F C P 事務局

いつもF C P活動にご協力をいただきありがとうございます。

さて、農林水産省では、夏休みに「子ども霞が関見学デー」を開催しております。  
F C P事務局としては、「F C Pいつでも『見える化』活動」の一環として、「食」の信頼向上に取り組んでいるF C P参加企業の活動を子どもたちに紹介することを通じて、F C Pの普及を行うことを目的として、省内で開催される本イベントに参加したいと考えております。

### 子ども霞が関見学デーとは？

「子ども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、農林水産省においては、毎日の「食」を生み出す農林水産業に理解を深めていただくことを目的として、平成12年度より実施しています。

昨年(平成23年度)の、農林水産省への来訪者数は、2日間で**4076名**(子ども2391名、引率者1685名)とイベント参加府省庁の中で第1位(第2位の文部科学省来訪者数の2倍)であり、夏の自由研究に利用されるなど大変人気のあるイベントとなっております。

平成23年度子ども霞が関見学デーの様子

[http://www.maff.go.jp/j/kids/k\\_d/h23\\_report/index.html](http://www.maff.go.jp/j/kids/k_d/h23_report/index.html) (写真)

[http://www.youtube.com/watch?v=EOvexvuht\\_8](http://www.youtube.com/watch?v=EOvexvuht_8) (動画)

つきましては、趣旨をご理解いただき、**別添1**のとおり「子ども霞が関見学デーイベント」にご協力いただける企業・団体様を募集いたします。

お忙しいとは存じますが、「子ども霞が関見学デー」イベントに対するご意向を**6月22日(金)**までに、**別添2**のアンケートにてお聞かせください。また、ご記入いただいたアンケートは、事務局宛に、電子メールもしくは、FAXでご提出いただきますようご協力をお願いいたします。

F C P事務局は、今後ともF C P活動の「見える化」に取り組んでいきますので、皆様におかれましては活動へのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 平成24年度「子ども霞が関見学デー」実施方法（案）

### 1. 日程

日時:平成24年8月8日（水）、8月9日（木）の2日間

時間:10時～16時

場所:農林水産省特設会場

参加対象者:小・中学生とその引率者（保護者）

### 2. テーマ 「食品企業のお仕事を見てみよう！」

～フード・コミュニケーション・プロジェクト～

### 3. 想定しているプログラム

- FCP参加の各企業、団体様（以下「FCP参加メンバー」）が食育、工場見学、展示スペースなどで利用されているパネル、説明資料、グッズ等をご提供いただき、食品が消費者の手元に届くまでに、食品企業や小売企業がどのような取組を行っているかについて紹介を行います。
- これは、FCP参加メンバーによる食育活動等の取組自体が、食に対して「真面目に取り組み、消費者に情報を伝える」というFCPの基本的な理念に合致するものと考えられることから、FCPの活動として紹介するものです。
- 「食べる」ことについて「見て」「聞いて」「体験できる」内容を想定しております。
- また、来場者に対して、アンケート等を実施し、ご協力いただくFCP参加メンバーの今後の業務への参考資料としてご活用いただくことも可能です。

### 具体例

#### (1) 体験型のプログラム(1日の中で人数や回数を決めて実施)

- ①子どもや引率者向け食育教室 ②食べ物に関するゲーム（クイズ）  
③工作 ④ぬりえ ⑤おりがみ ⑥企業キャラクターとの写真撮影

ただし、夏場の開催で気温上昇が考えられるため、品質劣化の考えられる調理や試食、試飲については実施しない。デモンストレーションで行う場合は相談のうえ可能。

#### (2) 展示・資料の配布

- パネルを使った、食品ができるまでの展示
- 企業の取組を説明した資料パンフレット（子ども向けレポート、CSRなど）
- 引率者向けには、食材をおいしく食べるためのレシピ（おうちでつくる簡単レシピ）

#### (3) プレゼント(温度管理が必要な食品については不可とする)

- 体験プログラムやクイズ、アンケートに参加・協力してくれた参加者に対して提供。

※なお、具体的な内容はご協力頂ける企業、団体様とFCP事務局で相談の上決定させていただきます。

## アンケート：平成24年度「子ども霞が関見学デー」実施イベントについて

- 送り先：FCP事務局
- 電子メール：fcp\_jimukyoku@nm.maff.go.jp
- F A X：03-6744-2369

6月22日(金)までにご提出くださいますようご協力をお願いいたします

|          |  |
|----------|--|
| 企業・団体名   |  |
| 氏名（ふりがな） |  |
| 電話番号     |  |

☐ 協力できる

（パンフレットやノベルティの提供も含みます。なお、パネル等の配布物でないものについては、イベント終了後返却いたします。）

☐ 協力は難しい

☐ その他（一度詳しい話を聞いても良い）

ご不明な点はFCP事務局（03-6744-2397）伊藤、今城、武藤までお願いします。